

2021年度第4回理事会議事録案

・日時	3月13日、午後13時00分～14時30分
・場所	日本財団パラスポーツサポートセンター並びにオンライン形式
・出席	オンライン出席; 石田直章、井岡雅子、森英二、齊藤れい、遠藤華英(オブザーバー次期理事) 委任出席; 徳永大作、理事5名全員出席、理事会成立 議題説明; 吉田進強化委員長、吉田寿子事務局長、吉田彫子事務員(次期事務局長)
・議長	理事長、石田直章
・議事録確認者	井岡雅子、森英二
・議題	

- 1、令和3年度活動報告 吉田寿子事務局長より令和3年度の活動が報告され、満場一致で承認された。
- 2、令和4年度活動計画 吉田寿子事務局長より令和4年度の事業計画が報告され、満場一致で承認された。
- 3、令和4年度予算、吉田寿子事務局長より説明され、満場一致で承認された。令和3年度の連盟の競技成績が良いとは言えず、厳しい予算編成になっていることが報告された。
- 4、令和4年度強化戦略プラン 吉田進強化委員長より令和4年度の強化戦略プランの説明があり、満場一致で承認された。
- 5、令和4年度連盟強化システム 吉田進強化委員長より強化戦略プランに基づく選手強化システム図について説明があり、満場一致で承認された。
- 6、令和4年度連盟コーチシステム 吉田進強化委員長より、強化戦略プランに基づく連盟コーチシステム図について説明があり、満場一致で承認された。
- 7、令和4年度人事。
 - 1、理事の辞任 齊藤れい理事が大学のシステムの変更で、時間的に連盟理事を継続することが難しいことが報告され、3/31をもって齊藤れい理事の辞任が承認された。
 - 2、新理事の承認 齊藤れい理事を紹介していただいた田中(日比野)先生の紹介で、同志社大学スポーツ健康科学部、助教の遠藤華英氏が推薦され、満場一致で遠藤理事の4/1からの就任が承認された。
 - 3、事務局長の辞任 3/31をもって吉田寿子事務局長の辞任が連盟の70歳定年規程により承認された。引き続き、強化委員会委員、強化コーチとして連盟の強化に関わっていくことが報告された。
 - 4、新事務局長の承認 事務局員として広報、会計等の担当をしてきた吉田彫子氏が石田理事長より次期事務局長に推薦され、満場一致で吉田彫子事務局長の4/1からの就任が承認された。
- 8、令和4年度のプロジェクト入り選手の推薦が強化委員会より提出された。
 - * 吉田寿子事務局長より、JPCからこの強化システムが「独善的にならないように」との指摘を受けたことが報告された。こちらについて、強化委員会の活動は理事の承認の元実施していくこと、また、外部の有識者による監査を受けながら実施していかなければならないことが報告された。
 - * テニスにも関わっている齊藤れい理事よりテニスはパーソナルコーチが付き、各選手が独自の練習をしていることが報告された。
 - * 一方、石田直章理事長より、競技特性にもよるが、世界のパラ・パワーの強豪国(中国、エジプト、イラン)の現状をみると、連盟の方針の元、同じプログラムを実施し、強化がはかられていることが報告された。
 - * 森英二理事より、連盟の強化活動を監査していくにあたり、プログラムの内容を知りたいと、意見が出され、今後は、現在座学で実施している連盟プログラム等、連盟勉強会に理事もオンラインで参加できるよう配慮することになった。

以上意見交換の結果、プロジェクト入り選手には、連盟プログラムの実施、連盟行事への80%以上の参加を求めることが満場一致で承認された。

*井岡理事より、予想される何人かの選手がこのプロジェクトに入っていない理由について、説明を求められた。吉田進強化委員長より、世界選手権時、または、オンラインやメールで個々の選手と会話、彼らは独自の練習をしたいという回答であったため、プロジェクトに入れなかったことが説明された。また、今後、彼らが連盟プログラムに参画し、連盟と共に練習したいという意向があれば、プロジェクトメンバー入りも有り得ることが説明された。

9、吉田寿子事務局長より、新ルールが発行され、競技に関わる変更点と日本での実施について報告された。

以上、審議事項を終了したので、議長より閉会が宣言された。

書記;吉田寿子

議長 石田直章



議事録確認者 井岡雅子



森英二

